

室蘭市八丁平の住宅建設会社「住まいのウチイケ」など4社が、宮の森町の旧知利別小校舎棟敷地（1万6429平方㍍）を市の一般競争入札で落札し、45区画の住宅地を造成する。1日から校舎の解体工事が始まり、来年7月に造成工事を終え、8月にも販売を始める。

（古田裕之）

# 旧知利別小敷地 宅地造成へ 室蘭・ウチイケなど45区画

JR東室蘭駅や商業施設にも近く、内池秀光社長（49）は「利便性が高く、これまでけまとまったく広さの土地が売り出されることはしばらくないだろうと考え、プラス価格での入札を決めた」と話す。  
宅地造成には、いずれも

1区画約840万円 総額3億円

来夏にも販売

室蘭市内の川田建設工業、内池建設、宇佐美建設の3社も参加。ウチイケも含めた4社のうち、いずれかのメーカーで住宅を建てることが販売の条件。胆振管内の不動産関係者は「宮の森町は宅地の供給が少なく希少性がある。土地が平たんで地価も安定している」としている。

住まいのウチイケなど4社が住宅地を造成する、室蘭市宮の森町の旧知利別小校舎棟敷地

